

『ぬたりんからの挑戦状！なぞときたからさがしウォーク in 新潟市東区』

参加レポート

開志専門職大学 事業創造学部東城ゼミ
佐藤拓磨、高杉菜々子、富田悠大

私たちは、このたび新潟市東区E産探求プロジェクト事業として開催された『ぬたりんからの挑戦状！なぞときたからさがしウォーク in 新潟市東区エリア』に参加しました。

今回はゼミの仲間3人で学生記者として体験し、それぞれが感じた学びや気づきをまとめてグループ記事としてレポートします。

この企画について

『ぬたりんからの挑戦状！なぞときたからさがしウォーク』は、新潟市東区公認キャラクター「ぬたりん」からの挑戦状に挑み、手がかりを集めながら、街を歩いて地域の魅力を再発見する周遊型の謎解きイベントです。



(左：ぬたりんからの挑戦状！なぞときたからさがしウォーク in 新潟市東区エリアのチラシ)

(右：東区応援団長のぬたりん)

参加者はたからさがしブックと宝の地図（画像①、②を参照）を手に、全部で5問用意された謎のうち、最初の4問を解くと、最後の謎を解くためのヒントの在りかが明らかになり、それぞれの答えを導き出しながら東区内のチェックポイントを巡ります。各所に設置された企業紹介パネルに触れながら進み、最後の謎を解き明かしてゴールを迎える仕組みになっています。

子どもから大人まで幅広い世代が楽しみながら学べるよう工夫されており、「産業のまち」としての東区の特徴を遊びと学びの形で体験できるのが大きな魅力です。



（左：たからさがしブック…画像① 右：宝の地図…画像②）

謎解きに挑戦してみても

実際に挑戦してみると、視点を変えたり手を動かしたりすることで解ける内容となっており、ゼミ仲間で相談しながら解き進める時間はとても盛り上がり、ひらめいた瞬間の達成感が心地よかったです。それぞれの手がかりパネルの設置場所にも遊べる要素や魅力があり、施設を満喫しながら謎解きを進めることができました。ここからは、訪れた各場所についてご紹介します。

一つ目の謎から導き出された場所は、東区役所でした。各ヒントの真横には、東区の企業の紹介パネルが設置されていました。謎解きをしながら東区のことを学ぶことができ、大人も子供も楽しむことができます。



(左：謎の手がかり…画像③ 右：企業の紹介パネル…画像④)

二つ目の謎の答えは山の下みなとランドでした。子どもの頃に何度か訪れた思い出のある公園で、大きな船の遊具が印象的です。当日も多くの子どもたちが元気に遊んでおり、にぎやかな雰囲気が広がっていました。今回は、子どもの頃にはなかったクラゲの遊具の可愛らしさに思わず写真を撮ってしまいました。また、隣接する山の下みなとタワーからは新潟市を一望でき、高台ならではの眺めを楽しむことができました。



(左：山の下みなとランド…画像⑤ 右：山の下みなとランド…画像⑥)



(山の下みなとタワー…画像⑦)

三つ目の謎では寺山公園を訪れました。2018年に開園した比較的新しい公園で、今回初めて訪れました。思いきり走り回れるほど広々とした敷地が印象的で、子どもたちにとっては絶好の遊び場だと感じました。園内には子育て交流施設もあり、天候に左右されずに利用できる点が大きな魅力です。



(左：寺山公園…画像⑧ 右：寺山公園…画像⑨)

四つ目の謎の答えはイオンモール新潟東店でした。ショッピングや食事、娯楽など、誰もが思い思いに過ごせる施設で、地域の生活拠点として多くの人に親しまれています。普段何気なく訪れている場所も、謎解きの舞台として巡ることで新鮮な楽しさがあり、身近な施設の新たな一面を感じることができました。



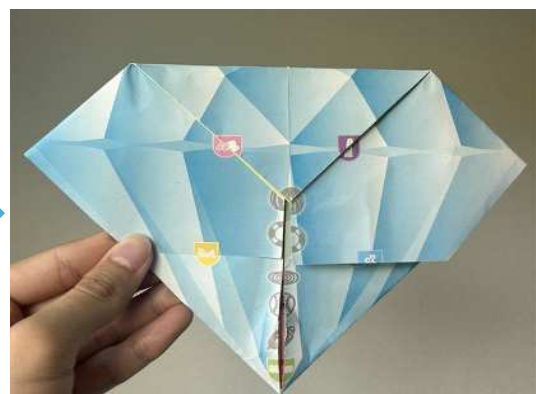
(イオンモール東新潟店…画像⑩)

これらの場所を巡ることで、最後の謎のヒントを得ることができました。

そして最後の謎を解くと冊子と一緒に配られた地図の折り方が分かり、**地図が宝石の形に変身する仕掛け**になっていました！遊び心にあふれていて、子どもはもちろん大人でも思わず感動してしまうような工夫。イベント全体が“学びと遊びの融合”になっていると感じました。



(左：宝の地図…画像⑪)



(右：謎を解き、宝石に変形した地図…画像⑫)

学んだこと ― 産業と地域の魅力

各チェックポイントには東区を代表する企業の紹介もありました。

- **日本貨物鉄道株式会社 関東支社 新潟支店**：JR 貨物は、全国ネットワークを持つ日本で唯一の貨物鉄道会社であり、日本海側で最大の貨物駅として私たちの身近な生活を物流の力で支えていることを知り、大きな驚きと共に誇りを感じました。
- **株式会社リンコーコーポレーション**：日本で唯一の私有港「臨港埠頭」を開拓した総合物流企業。新潟の物流インフラを支えていることを改めて実感しました。
- **新潟合板振興株式会社**：日本で唯一、住宅用「普通合板」を生産する工場。全国の生活を支える重要な役割を担っていることを知り、驚きと誇りを感じました。
- **北越コーポレーション株式会社新潟工場**：木材チップから用紙になるまでを一貫生産する体制を整えており、普段は紙を当たり前のように使っていますが、その一枚一枚が資源を大切に作る工夫から生み出されていることを知り、改めて持続可能な生産の大切さを実感しました。



(左上：企業紹介ボード…画像⑬) 右上：企業紹介ボード…画像⑭)

(左下：企業紹介ボード…画像⑮) 右下：企業紹介ボード…画像⑯)

ゴールと参加特典

すべての謎を解き明かしてゴールした後は、参加者全員に オリジナルのタンブラー が配られました。実用的なデザインで日常生活でも使えるので、今回の体験を思い出す素敵な記念品となりました。



(左:タンブラーの箱…画像⑰ 右:タンブラー本体…画像⑱)

3人それぞれの感想

佐藤拓磨

問題のひとつひとつに工夫されており、最初から最後まで楽しかったです。また手がかりとなったチェックポイントまでの移動中も東区の街並みや日本海の景色も堪能することができました。

東区全体を使ったイベントは今回が初めてで、東区の魅力について学びとなったいい機会となりました！

高杉菜々子

それぞれの場所に魅力があり、一日を通して東区を満喫できる謎解きでした。複数の公園を巡りながら遊べるのはこのイベントならではの、子供にとって盛沢山の楽しい思い出になると感じました。私自身は大学生として参加しましたが、公園で遊ぶ懐かしさを味わったり、屋内施設で涼みながらゆっくり謎解きを進めたりと、家族連れだけでなく幅広い世代が楽しめる内容でした。

富田悠大

今回の体験を通じて、「謎解き」「街歩き」「学び」が見事に組み合わせあったイベントだと実感しました。特に最後に地図が宝石の形へと変身したときは、学びだけでなく心から“楽しかった！”と思える瞬間でした。

普段何気なく通る場所に新しい魅力や産業が息づいていることを知れたのは、とても大きな学びです。遊びながら学び、ゴールでは達成感と特典まで待っている——そんな工夫に溢れたイベントでした！

この記事を読んでくださった皆さんも、ぜひ次回は挑戦してみてください！きっと、自分なりの「東区の宝物」に出会えるはずです。

最後まで読んでいただきありがとうございました！